2010

少年少女里山マイスター養成講座

ＮＰＯ法人徳島県森の案内人ネットワーク

はじめに

青少年育成の課題としては、野外での活動や小集団での作業、五感を使うことなどが極端に不足しており、それがコミュニケーション能力の低下また体力や知力にも影響を与えていると思われます。
当法人では、小学校を対象に森林環境教育に約10年取り組んでいますが、紙芝居や浸透力実験など室内での行事より野外活動の方が生徒の表情がいきいきとしていると感じていました。
そこで、身近な里山林をフィールドに、樹木の観察や秘密基地づくり、薪割りなどの作業を行うとともにいろいろな遊びを通して、里山の知識や道具を使う技術、そして楽しみ方を身につけてもらう実践的な講座を開講することにしました。
「2010少年少女里山マイスター養成講座」は、平成22年10月から平成23年4月までの間に7回行い、小学生30名が受講しましたので、その概要をまとめました。

目　次

講座の開催状況 …… P1～P7
アンケート結果 …… P8～P9
感想文 …… P10～P12
写真集 …… P13～P15
受講生の内訳 …… P16
成果と今後の課題 …… P17

第１回講座

10 月 3 日に受講生 30 名が参加して、第 1 回の講座を開始しました。講座の内容は、「樹木観察と名札づくり」で、雑木林に入って、じっくり木を観察したり、森の息づかい（風の音、鳥の声、香りなど）を静かに聞きました。雨が降るあいにくの天気でしたが、めげずに森の中で活動しました。そして午後からは、名札づくりやどんぐりの笛づくり。お気に入りの名札に仕上がったようです。

第２回講座

第２回の講座は、11 月７日「伐採とロープワーク、秘密基地づくり」で、のこぎりを使って、広葉樹（小径木）を伐採しました。伐採した木は、秘密基地づくりに利用しました。ロープワークでは基本的な結び方（本むすびなど）を学び、早速秘密基地づくりに役立てました。番線で固定するなど難しいところは、スタッフが手伝いましたが資材を置いたり、飾り付けなどは受講生で頑張りました。

第３回講座

12 月 5 日の第 3 回目は、クリスマスリースとミニ門松づくりで、ドングリや松ぼっくり、赤い実などいろいろな材料を思い思いに使い、作品ができました。ミニ門松は、ペットボトルに巻き付けるのに苦労したけど、かわいらしいものに仕上がりました。

第４回講座

１月９日の第５回の講座は、薪割りとピザ。薪割りは、①オノを使った薪割り、②薪割り機の使用、③チエーンソーの体験でした。それぞれ危険を伴うものですが、しっかりとスタッフがサポートした結果、怪我もなく、無事終了できました。オノを使った薪割りが大変好評で、自分の力で割れるということが実感できるからだと思います。ピザは、６つのグループに分かれて、生地を伸ばしその上に思い切りいっぱいのトッピングをして、ドラム缶釜で焼きました。美味しくできました。

第5回講座

2月6日の第5回の講座は、「ハイキング」。入田山人の森をスタートして、約20分で尾根に着き、そこから稜線を西に歩き、童学寺峠で折り返し、鉄塔下で休憩。眼下に石井町の町並みがよく見えました。全員元気に完歩。午後からは、カモフラージュゲームなど森で遊びました。

第６回講座

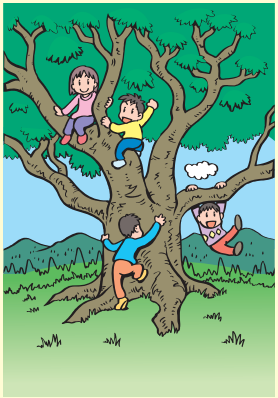
３月６日の第６回の講座は、シイタケの植菌作業と生き物観察でした。シイタケの植菌作業は、原木にドリルで穴を開け、そこに駒型に成形したしいたけ菌を打ち込みました。午後は、香川県の曽根先生が講師となり、森の中でどんな生き物がいるのか、観察しました。特に落ち葉などを採取して、小さな生き物を発見しました。

第７回講座

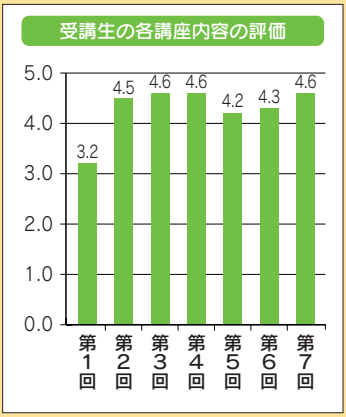
４月３日の第７回目は、カエデなど広葉樹の記念植樹と野外料理でした。植樹のための穴を掘るのが大変でした。野外料理は、アメゴの塩焼きと竹筒を使ったチキン料理。アメゴは、ぬるぬると滑るので串刺しが、難しかったようです。午後からは、曽根先生による生き物観察で、枯れた木を調べました。その後、修了式を行いました。

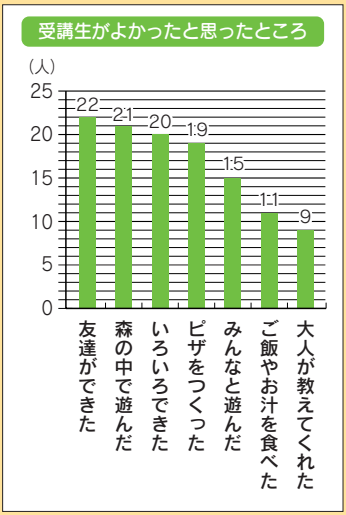
アンケート結果1

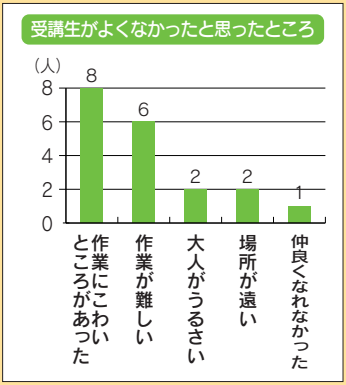
受講生（小学１～６年生）30 名のうち、26 名からアンケートの提出がありました。各講座内容の評価（5 段階）としては、第１回を除いて、４以上で、中でも第３回のクリスマスリース、ミニ門松づくりと第４回の薪割りとピザ、第７回の野外料理が高い評価でした。
具体的にどのようなところがよかったのか聞いたところ、友達ができたことが第１位で、第２位が森の中で遊んだこと、第３位がいろんなことができたことでした。



一方、良くなかったこととしては、作業にこわいところがあった、難しかったことをあげています。
また、これからも森の中で遊びたいと思いますかとの問いに対しては、約７割の 19 名が遊びたいと回答しています。



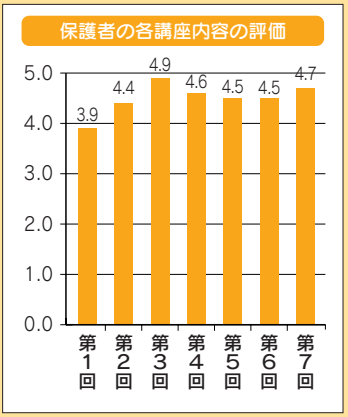


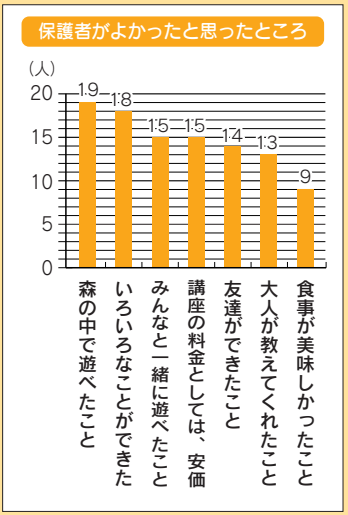


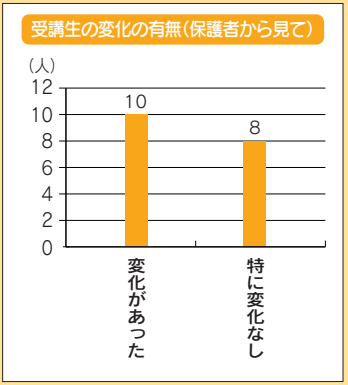
アンケート結果2

受講生(小学１～６年生)の保護者(20名）からアンケートの提出がありました。保護者は、一緒に参加されておりませんが、受講生の反応などから判断してもらいました。
各講座内容の評価（5 段階）としては、すべてほぼ４以上ですが、第３回のクリスマスリースやミニ門松の評価も高いのが受講生との違いでしょうか。
具体的にどのようなところがよかったのか聞いたところ、森の中で遊べたことが第１位で、第２位がいろいろなことができたことで、みんなと一緒にあそんだことと安い講座料が第３位でした。

一方、良くなかったこととしては、ほとんどありませんでした。
また、受講前と受講後に子供に変化があったかとの問いに対しては、5割の方が変化ありとの回答で、しっかりしてきた、積極的になった、いきいきと話をしたなど非常に好反応だったとのことでした。
今後もこのような講座に参加させたい、機会があれば参加させたいとの意見が、全員の 20 名ありました。







感想文１

少年少女里山マイスターを受けて

二年

はじめて、ぼくは里山マイスターを受けました。それは、友だちの和泉君にさそわれたのがはじまりでした。そして、まよ、たけど、行こうと決意して、行って見ました。

第一回は、大雨で、うまくできませんでした。第二回は、概要基礎をつくりました。じっさいにこういうことをするのははじめてで、わくわくしました。第三回は、クリスマスリース、門松作りもしました。うまくきれいにできて、とてもうれしく楽しい日でした。第四回は、薪割りとピザ作りをしました。第五回はハイキングをしました。日ざしがあつくて少しつかれました。でも山から見たけしきがとてもきれいでした。第六回はしいたけのしょっきしゃ自然かんさつをしました。しいたけは、こんなコルクの玉みたいな物から木の中にうめてできるのは知りませんでした。自然かんさつは、お手じゃくしは水の中のこけみたいな所にいてちょろちょろ細かに動いていました。第七回は用じで参加できなくてざんねんでした。どんなことをしたのか気になりました。

ぼくが、このこうざで一番べんにのこったことは、薪割りをハイキングでした。なぜなら、薪割りは、日じょう生活はできないけいけんで、薪割れるたびに、やったーという気持ちがわいてきたからです。ハイキングは、歩くだけではなくて、歩きながら、自然の楽しさがわかって、いろんなものをかんさつしたり、見つけたりできたからです。

ぼくは、この里山マイスターに参加して、自然のことをたくさん学べて、友だちと遊べてとても良かったです。

里山マイスター養成講座に参加して

ぼくは、この講座に参加して、特に心に残った事がら、があります。

一つ目は第一回の名札作りです。初めて作った木の名札は、学校の名札とちがって、あたたかみがあり、愛着が持てました。

二つ目は、第四回のまきわりです。初めて使うおのは、少しこわかったけど、慣れてくると、うまく使えるようになりました。まきのひび割れをねらい、ておのをふり下ろし、ねらい通りに当たって、まきがパカッと真っ二つに割れた時には、やったーとさけびそうになりました。

ちっ目は、回じく第四回のピザ作りです。ピザが焼けるのを待っている間は、「まだかな、まだかな」と言いながら何度もピザを焼いている所を見に行きました。そして、ピザがドラムかんのオーブンから出てきて、座っているぼくたちの目の前に置かれた時には、みんなが、しょに、「おお、すげー、おいしそー」と、みんなの想像以上にきれいで、おいしそうにできたピザに感げきしていました。そして、いただきます。

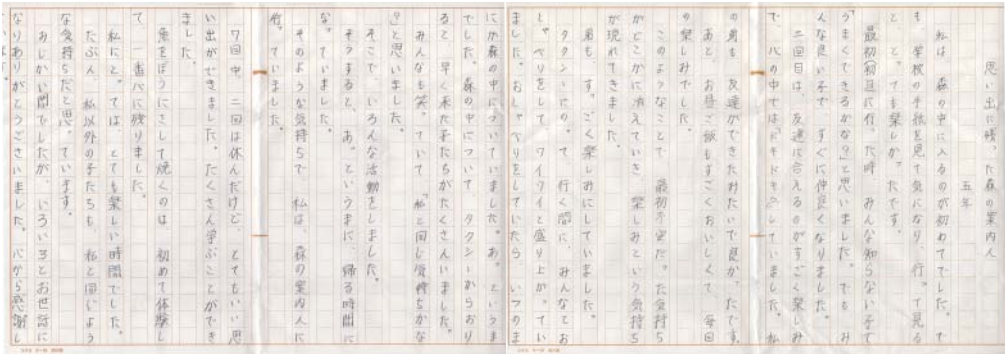
のあとすぐに、みんなの手がいっせいにピザにのびてきました。その時みんなで食べたピザの味は今でもわすれません。

四つ目は、第五回のハイキングです。テンのある場所から、どんどん上へ歩いていって、とうとう下から小さく見えていた鉄とうまで行きました。後になって下を見て見ると、たくさん歩いたんだなと実感しました。山の中では、まつぼっくりや木の実などを拾いました。ハイキングをしたら、とてもつかれました。

ちっ目は、「この講座で一番心に残った、第七回の野外料理です。アマゴをくしにさす時は、魚がぬるぬるして手がなかなかさせませんでした。でも、魚を思い、きりぬさえちょっとなんとかできました。パンでーチキンでは、ぼくは肉好きなので肉ばかり入れてしまいました。ぶたをしてやっていると、竹が爆発したので中は大じょうぶかなと少し心配しました。でも、中は何ともなっていませんでした。お昼ごはんの時、自分達で作ったパンでーチキンとアマゴの塩焼きは、美味しそうに見えました。今までで最高のお昼ごはんでした。

この講座では、木のぼり、ていやっまき割りなど中々できない体験ができました。それを支えてくれたスタッフの方々やリーダーの方、今までありがとうございました。

感想文2



思い出に残った森の案内人

五年

私は、森の中に入るのが初めてでした。でも、学校の手紙を見て気になり、行って見ると、とても楽しかったです。

最初、初対面だ、と思ったが、みんな知らない子でうまくできるかな？と思いました。でも、みんなはいい子で、すぐに仲良くなりました。

二回目は、友達に会えるのがすごく楽しみで、八の中では「ドキドキ」していました。私の男も、友達ができたみたいで良かったです。

あと、お昼ご飯もすごくおいしくて、毎回楽しみでした。

このようなことで、最初不安だった気持ちがどこかに消えていき、楽しみという気持ちが現れてきました。

弟も、すごく楽しみにしていました。

タクシーにのって、行く間に、みんなでおしゃべりをして、ワイワイと盛り上がっていました。おしゃべりをしていたら、いつのまにか森の中についていました。あっという間でした。森の中について、タクシーからおりると、早く来た子たちがたくさんいました。

みんなも笑っていて、「私と同じ気持ちかな？」と思いました。

そこで、いろんな活動をしました。

そうすると、あっというまに、帰る時間になっていました。

そのような気持ちで、私は、森の案内人になっていました。

一回目、二回は休んだけど、とてもいい思い出ができました。たくさん学ぶことができました。

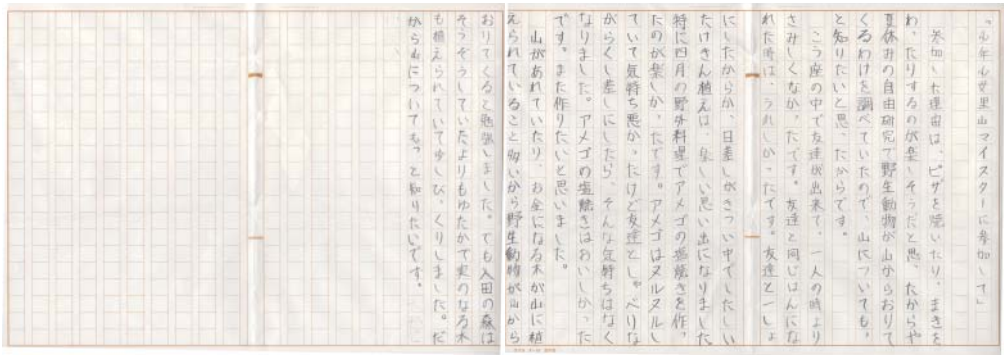
魚をぼうにさして焼くのは、初めて体験して、一番八に残りました。

私にとって、とても楽しい時間でした。

たぶん、私以外の子たちも、私と同じような気持ちだと思っています。

あとがき

「ありがとうございました、八から感謝しなりありがとうございました。」



「小学校の里山マイスターに参加して」

参加した理由は、ピザを焼いたり、まきをわったりするのが楽しそうだと思ったからや、夏休みの自由研究で野生動物が山からおりてくるわけを調べていたので、山についても、もっと知りたいと思ったからです。

こう座の中で友達が出来て、一人の時よりさみしくなかったです。友達と同じはんになれた時は、うれしかったです。友達とごしょにしたからか、日差しがきついやでしたしいたけさん植えは、楽しい思いおになりました。特に四月の野外料理でアメゴの塩焼きを作ったのが楽しかったです。アメゴはヌルヌルしていて気持ち悪かったけど友達とし゛ゃべりながらくぎ差しにしたら、そんな気持ちはなくなりました。アメゴの塩焼きはおいしかったです。また作りたいと思いました。

山があれていたり、お金になる木が山に植えられていること知いから野生動物が山からおりてくると思弱いました。でも入田の森はそうそうしていたよりもゆたかで実のなる木も植えられていてゆしび、くりしました。ビ外らぬについてもっと知りたいです。

感想文３（保護者）

… 受講後に変化があった。その内容は …

- 自然に興味が出てきた気がします。下の子（１年生）は、工作が好きになりました。それまでは、工作に苦手意識がありました。
- 自然観察への興味がさらに深まりました。自然に興味を持つようになった。
- 自分でするという事が増えた。元々好きだった自然に関してより興味を持って知識の習得をするようになった。
- 参加する事がめんどくさく思っていたみたいだったが、積極的に参加する意欲が芽生えた。
- 少したくましくなったように思う。
- 自分で取り組む姿勢が見られる様になりました。
- 山での遊びをいろいろ覚えそのことをよく話してくれるようになった。
- 自然の中での活動は、楽しいというようになった。
- 内容を話してくれた。

少年少女里山マイスター養成講座に参加して、息子たちは、宝物のようなワクワクする体験をたくさんさせて頂きました。講座が始まる前は、親から離れて活動することに少し不安を感じていた下の息子もずいぶん頼もしくなったように感じています。兄弟それぞれに友達を作り楽しく過ごしていた様子です。毎回、迎えに行った帰りの車の中で、嬉しそうにその日の出来事を話してくれるのを聞くのが親の楽しみでもありました。ケガ等がないように目を配りながら活動を支えてくださったスタッフの皆様は、講座の時だけでなく、事前の準備やあと片づけ等本当に大変だったことと思います。何のお役にも立てなかったことを心苦しく思っています。また次の機会があればぜひ参加させて頂きたいです。この講座に参加できて本当によかったです。ありがとうございました。

写真集 1

写真集2

写真集３

講座の時間割

9:30～10:00	オリエンテーション
10:00～11:50	ハイキング
12:00～12:50	昼　食
13:00～14:00	落ち葉工作
14:00～14:40	森での遊び
14:40～15:00	ふりかえり･解散
15:00～16:00	片づけ、ミーティング

第5回ハイキング

準備運動

受講生の内訳

学年別･男女別人数

区分	学年						
	1	2	3	4	5	6	計
男	5	4	6	3	3	2	23
女	0	2	0	3	1	1	7
計	5	6	6	6	4	3	30

住所別人数（人）

区分	徳島市	美馬市	石井町	北島町	藍住町	鳴門市	小松島市
人数	15	4	4	3	2	1	1

- 受講生は、前回男女比が６：４だったものが男子が８割近くと多く、高学年までそろっているのが今回の特徴です。
- 受講生は、徳島市が半分を占め、次に周辺の町からの参加ですが、比較的遠い美馬市から４名参加。クチコミの効果でしょうか。

講座の成果

受講生及び保護者の当日の反応やアンケート結果から、この講座は概ね好評であったと推測しています。
昨年度の経験を生かして、子どもたちの反応を見ながら、少しだけ余裕をもって対応できるようになってきたと思います。
講座の成果としては、里山の中での遊びや作業を通じて子どもたちの成長を感じたことで、そのことは会員の活動に対する自信につながっています。

今後の課題

前年度の講座を参考に、今年度は１回多い７回の講座のプログラムとしました。
課題としては、①雨の日の対応の準備が不十分だったこと。②スタッフの確保。③講座内容の充実などがあります。
資金面では、緑の募金の交付金をいただき、教材や資材、交通費などに活用しました。
今後も、しっかり打ち合わせを行いながら、より充実した講座を継続したいと思っています。

「森の案内人ネットワーク」とは、

森林での自然観察やレクリエーションの指導、森林のしくみや
はたらきの学習、森づくりボランティアをする人の仲間です。
設立のきっかけは、徳島県が開催した「森の案内人養成講座」で、
その受講生などが主なメンバーですが、
活動の主旨に賛同される方を広く募っています。

連絡先（事務局）　088－655－1566

この事業は、緑の募金公募事業を活用しています。